

第63回

# 福岡県公民館大会

平成30年8月10日(金)  
イツカコスモスコモン

飯塚新人  
音楽コンクール  
(声楽部門)



天皇杯・皇后杯  
飯塚国際車いすテニス大会



主催

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会



## 目次



第63回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶 .....	1
第63回福岡県公民館大会 開催要項 .....	2
平成30年度公民館役職員表彰一覧 .....	4
講演 .....	8
インタビュー・ダイアローグ .....	18
福岡県公民館大会年表 .....	20

### 天皇杯・皇后杯 飯塚国際車いす テニス大会

飯塚国際車いすテニス大会は、車いすテニスを通じて、障がい者スポーツの日本国内外の交流と相互理解を目的として、昭和60年（1985）から開催されています。毎回2,000名を超すボランティアが大会の運営支援に当たり、地域挙げてのホスピタリティーはITFにも高く評価されています。ボランティアの方々は、ボールパーソン、会場整備、輸送、メディカル、食事、通訳、駐車場誘導といった様々な仕事を引き受けており、この運営方式は「イイツカ方式」と呼ばれるようになりました。2018年の第34回大会から天皇杯・皇后杯下賜という障がい者スポーツとして国内初となる輝かしい名誉を賜り、男子シングルス優勝者へ天皇杯、女子シングルス優勝者へ皇后杯が授与されました。

### 飯塚新人 音楽コンクール

昭和57年（1982）から「ピアノ」「声楽」の2部門で開催されている音楽コンクールで、出場者は、北は北海道から南は沖縄県まで全国にまたがっています。このコンクールから多くの人が音楽界の一線で活躍し、「日本音楽コンクール」「チャイコフスキーコンクール」「ショパンコンクール」等々での上位入賞者を輩出しています。コンクールの運営はボランティアスタッフが行き、きめ細やかな運営、市民による財政支援がこのコンクールの大きな特徴です。

### ボタ山

かつて炭鉱のまちとして発展した飯塚にその時代の面影を残す数少ない遺産のひとつがボタ山です。この忠隈のボタ山は別名「筑豊富士」とも呼ばれ、地域のシンボルとして残っています。ボタ山とは石炭の採掘に伴い発生する捨石（ボタ）の集積場で、半世紀近く積み上げて出来たこの山は10トントラック70万台分の量が現在3連の山として残っています。

### 嘉穂劇場

飯塚市の中心市街地にある国の登録有形文化財の芝居小屋で、特定非営利活動法人によって運営されています。昭和6年に落成し、木造2階建て入母屋造り、間口10間の大きな梁で、柱を使わずに建てられた1,200人を収容する客席は、当時の面影を残す贅沢な空間となっています。桝席、二本の花道と日本最大級の廻り舞台のほか、迫り台、花道の隠れ入口「スッポン」などは全て人力で動き、全国座長大会は名物公演として全国に名を馳せています。

### 旧伊藤伝右衛門邸

筑豊の炭鉱王と呼ばれた伊藤伝右衛門と歌人柳原白蓮が過ごした近代和風建築物です。4つの居住棟と3つの土蔵があり、池を配置した広大な回遊式庭園は、文化財的価値が高く評価され、平成23年（2011）9月国指定名勝庭園に指定されています。

伊藤伝右衛門の本邸として粋を凝らした豪邸では、現在、雛の祭りなど様々な催しも行われ、連日多くの入館者で賑わっています。

## 第63回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会

会長 木原 忠

県内各地から、公民館に関わっておられます皆様の御参加をいただき、ここ飯塚市におきまして、第63回福岡県公民館大会が盛大に開催されますことをたいへん嬉しく思っております。

また、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰をさせていただきます。表彰を受けられます皆様には、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、近年、少子化による人口減少や高齢化が急速に進んでいます。また、都市部への人口集中の傾向が強まる中で、若者を中心に人口が大幅に減少する深刻な事態を迎えている地域も多く、将来、消滅しかねない地域も少なくないとの指摘があります。さらに、人工知能やビッグデータ等、技術革新による第四次産業革命が進展し、社会や国民の生活に大きな影響を及ぼすことも予想され、地域の将来像が見えにくい状態が進んでいます。

そのため、地域の学びの拠点である公民館においては、今後、地域住民が地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき地域課題とその対応について学ぶ、「地域課題解決学習」の推進を図り、住民の主体的参画による持続可能な地域づくりに貢献することが求められています。

本大会は、こうした視点を踏まえて、テーマを「持続可能な地域に向けて 公民館が進む道～この時代だからこそ必要とされる地域の拠点であるために～」とし、香川大学地域連携・生涯学習センター准教授の山本珠美様に「地域を元気にする公民館の仕掛け ～住民参画による地域の課題解決が活性化の鍵～」と題した御講演をお願いしております。午後からのインタビュー・ダイアログでは、「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」をテーマに、地域づくりの拠点としての公民館の在り方について協議を深めてまいりたいと考えております。

皆様方にとりまして、本大会を公民館実践交流会への指針としていただくとともに、実り多き大会となりますことを心から願う次第です。

結びに、本大会の開催に当たり、準備から運営に至るまで多大なる御支援を賜りました地元飯塚市をはじめ、筑豊地区の皆様、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただいた皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

平成30年8月10日



## 第63回 福岡県公民館大会開催要項

※公民館（市民センター・コミュニティセンター等を含む。）

- 1 趣 旨** 近年、少子高齢化、高度情報化、都市化・過疎化の進行、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢が急激に変化しています。その結果、地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。

本大会は、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者等が一堂に会し、県内外の実践の紹介や協議をとおして、地域づくりの拠点として、地域から必要とされる公民館の今後の在り方について考え、ともに学び合い、取組への熱を高め、今後の公民館等の活動が充実することをめざします。
- 2 大会テーマ** 「持続可能な地域に向けて 公民館が進む道」  
～この時代だからこそ必要とされる地域の拠点であるために～
- 3 主 催** 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 共 催** 飯塚市教育委員会
- 5 後 援** 福岡県、飯塚市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 日** 平成30年8月10日（金）
- 7 会 場** イイツカコスモスコモン  
〒820-0041 福岡県飯塚市飯塚14番66号  
TEL 0948-21-0505



- 8 参加者** 約1,000名  
公民館等職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館等関係者、コミュニティ施設関係者、社会教育委員、学校教育関係者、生涯学習・社会教育関係者、社会教育関係団体 等
- 9 日 程**
- 9:30～ 受 付
- 10:10～ 大会式典・表彰式
- 11:00～ 講 演  
「地域を元気にする公民館の仕掛け」  
～住民参画による地域の課題解決が活性化の鍵～  
香川大学地域連携・生涯学習センター 准教授 山本 珠美氏
- 12:20～ 昼 食
- 13:40～ インタビュー・ダイアローグ  
テーマ「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」  
【コーディネーター】  
九州女子大学 教授 大島 まな氏  
【コメンテーター】  
香川大学地域連携・生涯学習センター 准教授 山本 珠美氏  
【登壇者】  
福岡市警固公民館 館長 南 幸盛氏  
香川県高松市大町コミュニティセンター 主任 片山あゆみ氏  
香川県高松市立牟礼小学校 教諭 黒川 幸宣氏
- 15:00 閉 会



# 福岡県公民館連合会表彰



## 平成30年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員）

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
公立公民館	1	福岡市	かわ ぞえ けい こと 川 添 恵 子	ひらく 東区 たたら 良公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 地域の各種団体や学校、企業などの連携を図り、様々な人々が交流できるコミュニティ活動の拠点としての役割を果たす公民館運営を行うなど、地域づくりに貢献した。
	2		ご とう る り 後 藤 る り	はかた 博多区 な かの 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 地域住民の意見を積極的に取り込んだ学習講座の企画・実施など、多様な学びの場を設定し、住民の生涯学習及びコミュニティ活動の支援に積極的に努め、地域づくりに貢献した。
	3		やす たけ あき お 生 安 武 明 生	はかた 博多区 かた 粕 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 来館者やスタッフへの温かい声かけなど、利用しやすい公民館づくりを心がけ、地域課題を考える機会や幅広い年齢層が交流できる場の提供など、地域づくりに貢献した。
	4		ひら かわ み どり 平 川 み どり	ちゅうおう 中央区 はる 吉 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【高齢者教育】 地域の課題に焦点をあて、創作ダンスをはじめ、各講座や研修会等の企画運営を活発に行うとともに、校区の行事や市のイベントにおいて学びを生かす場を位置づけるなど、高齢者の生きがいづくりに尽力した。
	5		やま もと きみ や 也 山 本 公 也	みなみ 南区 や なが 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【公民館施設の管理・運営】 地域の課題を的確に捉え、真摯な態度で堅実に職責を果たす姿は、地域住民からの信頼も厚く、高齢者とその家族を支援する講座を企画運営するなど、地域との調和を大切に公民館運営に尽力した。
	6		いわ こ りつ じ 二 岩 子 律 二	みなみ 南区 しお ぼる 公 民 館 塩 原	かん 館 ちよう 長	【公民館施設の管理・運営】 各種事業の企画実施に優れており、新しい住民や子どもを対象にした事業を地域の各種団体と連携して実施するなど、地域との調和を大切に公民館運営に尽力してきた。
	7		さ とう のぶ こと 佐 藤 の 信 子	ひらく 東区 ち 早 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 地域の各種団体や学校、企業などの連携を図り、子どもの健全育成事業をはじめ、様々な分野の事業を実施するとともに、校区住民の融和と交流づくりに取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	8		え さき みどり 翠 江 崎 翠	ひらく 東区 か しいも ぼる 公 民 館 香 椎 下 原	しゅ 主 じ 事	【団体育成・サークル活動】 公民館主催事業の企画立案、実施に向けて熱心に、誠実に取り組むとともに、各種団体やサークルの運営支援を行うなど、団体やサークル活動の育成に貢献した。
	9		みぞ かみ ひ と み 溝 上 ひ と み	ちゅうおう 中央区 だい 名 公 民 館 大 名	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 地域課題を的確に把握し、公民館を校区のコミュニケーションの拠点と位置づけ、各種事業の企画・運営に積極的に取り組み、公民館を核とした地域づくりに貢献した。
	10		おお た み ゆ き 太 田 み ゆ き	ちゅうおう 中央区 すの 賢 子 公 民 館 賢 子	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 地域住民を公民館事業に参画させる企画の工夫など積極的に行い、事業をマンネリ化させない工夫をするとともに、人材育成をおとした地域づくりに貢献した。



種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
公立 公民館	11	福岡市	福岡南區 福永美智子	福岡南區 花畑公民館	主事	【地域づくり】 多様化する住民の学習ニーズや地域課題を捉えた講座、研修会の企画運営などに積極的に取り組むとともに、地域の担い手づくりに尽力するなど、地域づくりに貢献した。
	12		福岡西區 末松圭子	福岡西區 もとおか公民館	主事	【地域づくり】 地域住民やサークル会員と積極的にコミュニケーションを図るとともに、地域の各種団体と連携して高齢化問題や子ども健全育成事業に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	13	古賀市	城戸京子	公民館運営審議会	委員	【公民館施設の管理・運営】 多様な立場からの視点で公民館各種事業の企画実施について調査・審議を行うとともに、利用者目線での施設利用上の改善を図るなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	14		青木扶美子	公民館運営審議会	委員	【公民館施設の管理・運営】 公民館の運営について、複数の立場の視点で調査・審議を行うとともに、住民の学習機会を保障する観点から施設利用上の改善を図るなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	15	福津市	安徳尊博	公民館運営審議会	会長	【公民館施設の管理・運営】 会議の方向性を整理するなど、スムーズな会議運営を徹底するとともに、建設的な答申を行い、公民館施設の管理・運営に尽力した。
	16		荒牧建二	公民館運営審議会	副会長	【公民館施設の管理・運営】 施設の維持や事業の継続について誰もが納得できる意見を述べるとともに、公民館関係者の関わり方等について提言し続けるなど、公民館施設の管理・運営に尽力した。
	17	朝倉市	井上つよし	安川コミュニティ協議会	事務局長	【地域づくり】 高齢者が参加できる取組など、住民のニーズに合った行事や学習の機会を提供し、少子高齢化が進んでいる地域のふれあいづくりを推進するなど、地域づくりに貢献した。
	18	糸島市	社家問義旦	糸島市前原公民館	館長	【地域づくり】 公民館講座の企画・運営を行うとともに、校区住民主体の活動団体の自主運営・自主活動に向けた企画の助言や運営支援を行うなど、地域づくりに貢献した。
	19	飯塚市	まつおか たかし 松岡隆	公民館運営審議会	委員	【公民館施設の管理・運営】 まちづくり協議会の立ち上げや交流センター建設時には、住民の意見を反映させ、組織や施設の改善を図るなど、公民館の管理・運営に貢献した。
自治（町内） 公民館	20	北九州市	よし の ます お生 吉野益生	もじく区 大里柳公民館	館長	【地域づくり】 まちづくり協議会や婦人会と連携して、盆踊りなどの各種行事を開催するとともに、地域の見守り活動や高齢者支援活動にも取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	21		はち むら てつ お夫 八村哲夫	もじく区 丸山公民館	館長	【地域づくり】 まちづくり協議会や婦人会と連携しながら、文化祭やグランドゴルフなどの行事を開催するとともに、見守り活動や高齢者支援活動に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	22		ふじ もと ひろ こ子 藤本博子	こくらきたく 黄金二丁目公民館	館長	【地域づくり】 高齢者の居場所づくりや学びの場の提供を行うとともに、多世代が交流できる子どもの料理教室を企画・実施するなど、地域に根ざした事業を展開し、地域づくりに貢献した。
	23		あべ のり とし 年 安部祝年	こくらきたく 小倉南區 なま た こう 市民 館 鱈田公民館	館長	【地域づくり】 様々な講座を企画・実施し、地域の生涯学習の振興に寄与するとともに、地域の絆づくりや安心・安全なまちづくりにも尽力するなど、地域づくりに貢献した。
	24		いち の すず え 市野すずえ	こくらきたく 小倉北區 たか つ お 市民 館 高津尾公民館	館長	【地域づくり】 地域住民の要望に即した講座を開催するとともに、地域の絆づくりや安心・安全なまちづくりをめざした取組を実施するなど、地域づくりに貢献した。



種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
自治（町内）公民館	25	北九州市	よし 村 秀 人 吉 村 秀 人	や 八幡西 はたにし 区 えい の まる 永 犬 丸 南 町 公 民 館 えい の まる 永 犬 丸 南 町 公 民 館	かん 館 館 長	【地域づくり】 住民間のつながりを深めるためにスポーツや文化事業を積極的に行うとともに、青少年の健全育成や地域環境の改善に努めるなど、地域づくりに貢献した。
	26		お がさ わら かず み 小 笠 原 一 美	や 八幡西 はたにし 区 やなぎ 柳 原 公 民 館 やなぎ 柳 原 公 民 館	かん 館 館 長	【地域づくり】 夏祭りをはじめ、多彩な地域行事を実施し、住民の親睦を深めるとともに、住みよいまちづくりをめざした環境整備活動や防災訓練等に寄与するなど、地域づくりに貢献した。
	27		の ぐち よし ひろ 野 口 芳 廣	や 八幡西 はたにし 区 やま 山 浦 公 民 館 やま 山 浦 公 民 館	かん 館 館 長	【地域づくり】 誰でも参加できる行事を企画・実施し、地域住民の仲間意識を高めるとともに、定期的な防災訓練に取り組み、住民の防災意識の向上を図るなど、地域づくりに貢献した。
	28		こん どう あら 近 藤 新	や 八幡西 はたにし 区 ふか 深 田 公 民 館 ふか 深 田 公 民 館	かん 館 館 長	【地域づくり】 世代間を問わず多くの住民が参加できる行事を企画するとともに、行事開催時には、常に防災を意識し、安心安全な地域づくりに貢献した。
	29	須 恵 町	す え な が の り あき 末 永 則 明	す え まち 須 恵 町 にし 西 原 分 館 にし 西 原 分 館	ぶん かん 分 館 長	【地域づくり】 町が推進する小学校区を核とした校区コミュニティに関わり、6分館合同での夏祭りを実施するとともに、運動会や防犯活動の実施など、地域づくりに貢献した。
	30	筑 後 市	た なか とみ お 田 中 富 雄	ちくごし 筑 後 市 みず 水 田 中 公 民 館 みず 水 田 中 公 民 館	かん 館 館 長	【学社連携・融合】 学校の学習支援や土曜日の子どもたちの学習活動・体験活動を企画・運営するとともに、子どもたちの安全を見守る地域活動を確立するなど、学社連携・融合を推進した。
	31	大 川 市	はやし まさ つぐ 林 正 継	おおかわし 大 川 市 のぎ 榎 津 町 公 民 館 のぎ 榎 津 町 公 民 館	かん 館 館 長	【地域づくり】 地域の特色を生かした事業の企画を工夫するとともに、文化祭など、様々な行事を実施して住民の親睦を図る仕掛けを行い、地域づくりに貢献した。
	32		やま うら ひろ あき 山 浦 寛 明	おおかわし 大 川 市 みや 宮 の 前 町 公 民 館 みや 宮 の 前 町 公 民 館	かん 館 館 長	【地域づくり】 公民館活動の実態を的確に把握し、事業の活性化をめざして、活動内容の工夫や情報共有に努め、今まで以上にまとまりのある公民館へと変容させるなど、地域づくりに貢献した。
	33	直 方 市	いし やま よう いち 石 山 洋 一	のおがたし 直 方 市 たいしやまち 大 正 町 自 治 区 公 民 館 きたこうく 北 校 区 自 治 区 公 民 館 きたこうく 北 校 区 自 治 区 公 民 館	もと かん 元 館 長	【地域づくり】 環境美化活動や高齢者福祉事業などにも積極的に取り組むとともに、市公民館連絡協議会の会長として、市の地域自治組織をまとめ、地域づくりに貢献した。
	34		しの ざわ よし みち 篠 澤 善 道	のおがたし 直 方 市 がんだ 感 田 4 区 自 治 区 公 民 館 がんだ 感 田 校 区 自 治 区 公 民 館 がんだ 感 田 校 区 自 治 区 公 民 館	かん 館 もと かん 元 館 長	【地域づくり】 青少年健全育成や地域スポーツの振興など、様々な分野で指導者として活動するとともに、市全体の地域自治公民館組織をまとめるなど、地域づくりに貢献した。



講演  
インタビュー・ダイアログ





講演

「地域を元気にする  
公民館の仕掛け」

～住民参画による地域の課題解決が活性化の鍵～



香川大学  
地域連携・生涯学習センター  
准教授 **山本 珠美** 氏

プロフィール

神奈川県生まれ。  
香川大学生涯学習教育研究センター講師、助教授を経て、2018年4月より現職。  
本年度、公民館職員専門講座（文部科学省主催）講師。

主な活動

- 国立科学博物館の評価等に関する有識者会議委員
- 香川県生涯学習政策アドバイザー
- 丸亀市社会教育委員（会長）
- 岡山県生涯学習センター運営協議会委員 など

主な著書

- ・『二訂・生涯学習概論ハンドブック』国立教育政策研究所社会教育実践研究センター  
2018年（馬場祐次朗ほか編著）
- ・『大学開放論～センター・オブ・コミュニティ（COC）としての大学』大学教育出版  
2014年（出相泰裕編著）
- ・『社会教育計画の基礎「新版」』学文社 2012年（鈴木眞理・山本珠美・熊谷慎之  
輔編著）



## 地域を元気にする公民館の仕掛け ～住民参画による地域の課題解決が活性化の鍵～

山本 珠美（香川大学地域連携・生涯学習センター准教授）

### 1. はじめに

### 2. 公民館の役割

寺中作雄『公民館の建設』（1946年）

「われわれの為の、われわれの力による、われわれの文化施設——それが公民館の特徴であり、公民館の本質である。」

※寺中作雄（1909-1994）：文部省にて公民教育課長、社会教育課長、社会教育局長等を歴任。

### 3. キーワード1【地域の課題解決】

参考資料：『岡山の公民館』No.58（2018年3月発行）より

第1回公民館職員が選ぶ！講座アワード

- ・児島公民館「国際料理講座」（倉敷市）
- ・吉備公民館「ちちとくらぶ」（岡山市北区）
- ・福田公民館「新発見、海から見る絶景水島コンビナート」（岡山市南区）
- ・水島公民館「若者から発信！自然環境のためにできること」（倉敷市）
- ・富山公民館「おばけ屋敷プロジェクト」（岡山市中区）
- ・勝央町公民館「青少年カタルバ事業」（勝央町）

### 4. キーワード2【住民参画】

寺中作雄「公民館は極めて民主的に運営されねばならない。」 cf.公民館委員会構想

→公民館運営審議会の重要性と限界

参考資料：『広報みとよ』2017年9月号より

図書館の未来を話し合う、ワークショップを開催しました

### 5. おわりに



## 第1回 公民館職員が選ぶ！講座アワード

本年度から始まりました「公民館職員が選ぶ！講座アワード」は、県公連の事業方針1(5)にあります「特色ある活動事例の紹介や、公民館相互の交流により、取組の改善・見直しを促進し、公民館の存在意義を高める。」に向けた取組の1つとして、他の公民館の取組を知ったり、刺激をもらったりしながら、互いにモチベーションを高め、各館の講座内容の向上につながる場になればと開催しています。

第1回の本年度、皆様にお声かけをさせていただいたところ、「各館のおすすめの講座」の提供をいただいた138館の中から48館がアワードにご応募をいただきました。本当にありがとうございました。

参加者の方からも「自分の市以外の公民館の特色ある講座の様子がよく分かった。他館の取組を知ることで、よい刺激を受けた。来年度に向けて新しいアイデアが湧いてきた。」というご感想をいただきました。これからもこのアワードを岡山県公民館関係者で力を合わせて「情報交換の場」「アイデアの泉」として温めていけたらと思っています。

来年度も5月に「講座アワード」のご案内をいたしますので、ぜひ御参加ください!!



参加記念バッジ

### 【グランプリ】「国際料理講座」 倉敷市児島公民館 (25票)

#### 【投票理由】

- 倉敷児島地区6館の協力体制の構築、横のつながりの強さ。これからの国際社会の中で、他国の方々との交流が図れるという事は素晴らしいことであり大人だけでなく、子どもたちにもよい経験をさせていること。
- 「G7倉敷市教育大臣会合」で採択された「倉敷宣言」をどう地域で広げていくかを考えて、食をテーマに国際理解の事業を実施している。また、リレー形式で地区内の各公民館を会場に実施していることは、地区での一体感を高め、そして様々な人と人がつながる可能性があり、多文化共生を進めていく上で効果的だと感じた。このたびの成果をどう発展させていくか、今後の事業展開に興味をもった。
- 受講生にとっても普段利用している館ではない他の館を知る機会となり、新たな学びの場に触れるきっかけとなり得るところ。
- ひとつの公民館でシリーズものの講座をするケースは多いと思うが、市の一部の地区5か所のリレー方式、かつ、多国籍なところは地域性を生かして楽しそうである。あまり外国に興味のない人にも、『食』という身近な部分で交流ができ、国際理解へのよいきっかけとなったのではないかとと思われるため。
- 外国人講師による国際料理講座は楽しく参加でき、国際理解・交流につなげやすい企画だと思う。地域連携講座としても、リレー形式での実施は一体感が生まれ、有意義な企画だと思う。



### 【準グランプリ】「ちちとくらぶ」 岡山市立吉備公民館 (16票)

#### 【投票理由】

- 子育て世代の男性がたくさん参加されている講座はめずらしく、なかなか成功しないのが現実だが、「講座」という枠を超えて地域の活性化につながるすばらしい活動にもなっている。「お母さんが少し息抜きができる時間」という気持ちが子育てをしているお母さんたちにとってもうれしい講座である。こういう講座がどんどん広まればいいなという思いで選んだ!!
- お父さんたちが主体的に企画し、運営していくそのしくみづくりを公民館がサポートしているところが優れていると思った。
- 地域活動や公民館に疎遠な(参加しにくい)働く世代の人たちが、つながりあう場になっている。公民館や地域に関わることによって、親子共に楽しいことを通して地域の中でのつながりができ、地域での居場所・活躍の場づくりができています。今後の活動の広がりに期待もでき、次世代の担い手づくりにもつながれるのではと感じた。
- 普段なかなか遊べないお父さんと一緒にいろんな体験ができて、子どもたちも楽しいと思います。また、企画・運営を通して、お父さんたちはもちろん、地域の方たちとの交流も広がり地域の活性化にもつながっていくと思った。
- 公民館側だけでなく、参加者自身が主体となって企画、実施している点。これは当館が親子講座を企画する上で目標としていることである。また、講座を通して、地域の人とつながり、交流する機会となり、人と人をつなぐという公民館の役割を果たしている。そして、まだまだ子育てに参加しづらい父親が対象であり、この講座を通じて、父と子のふれあう時間がより濃密なものになる。



### 第3位 「新発見!海から見る絶景水島コンビナート」 倉敷市福田公民館 (12票)

#### 【投票理由】

- 地域の高校生にボランティアガイドを依頼し、高校生・地域の団体・公民館が連携して講座を企画し、実施している。また、地域の良さや特色を再発見する講座となっているから。
- 地域のよさを再確認するとともに、地域を愛し、地域の産業に誇りをもつことができる。地域の未来を築いていこうとする思いを一層強くすることができる講座となっているから。
- 地域の高校生がボランティアガイドとして企画へ参加していること。また、水島コンビナートの現状と船上から見る運搬船の迫力を味わえる講座内容が魅力的だった。
- 高校生がボランティアガイドとして、参加しており、本市では中学生、高校生の職業体験として、公民館業務などを体験する機会はあるが、実際の公民館活動事業において、高校生ボランティアの実例がなく、今後、人材育成等の関連で取り入れることも参考とさせていただきます。また、公民館施設内だけでなく、海岸部だからできる地域資源を活用・体験する講座として、非常に面白い。
- 地元の知られざる魅力を発掘し広める、地域おこしの土台への視点を見習いたい。



※受賞されました3館及び他45館の実践報告は、岡山県公民館連合会のHP[<http://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>]からご覧いただけます。

### ～「公民館職員が選ぶ！講座アワード」への参加公民館へ～

モデル公民館選定委員のお二人に、各公民館の実践報告をご覧になった感想をうかがったところ、受賞公民館以外の取組も大変すばらしかったということで、コメントをいただきました。

#### 岡山大学教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 氏



講座アワードで表彰された公民館以外にも、示唆的で興味深い講座も多数みられました。まず、岡山市立岡南公民館、富山公民館、芳田公民館、岡輝公民館、津山市立高倉公民館、真庭市立久世公民館、勝央町公民館などのように、地域で中高生の「出番と役割と立場」をつくる講座が目を引きました。これらの公民館では、中高生を学習の受け手としてだけでなく、地域を担う未来のパートナーとして捉え、講座が企画されていました。

もう一点は、岡山市立中央公民館、光南台公民館、倉敷市立水島公民館、赤磐市立中央公民館などのように、地域課題や現代的課題に切り込み、その解決をねらった講座があげられます。なかでも、岡山市立中央公民館の「ゆとり世代のためのコミュニケーション講座」は、現代的な課題に迫るだけでなく、公民館参加者の裾野をひろげる意味でも興味深いです。もちろん、公民館で楽しく学ぶことは大切であるが、上述した「中高生の参加・参画」や「地域課題・現代的課題の解決」をねらった講座の企画・実施は、これからの公民館において、ますます重要になってくると思います。

#### 香川大学生涯学習教育研究センター 准教授 山本 珠美 氏



公民館に10代後半～20代が来ないということは言われて久しいですが、水島公民館の「若者から発信!自然環境のために出来ること～瀬戸内海からこんなゴミが出てきました～」や、勝央町公民館の「青少年カタルバ事業」は、興味深い取組であると思いました。一方は、海ゴミという地域課題を考える「王道」事業であり、もう一方は公民館のロビーを若者の手で改装するという「手作り」事業ですが、地域の主人公として「自分たちのできることは何かを考え実行する」取組であり、高く評価できるのではないかと思います。

## 第29回全国公民館セミナーに参加して

平成30年1月31日(水)～2月2日(金)の3日間、国立オリンピック青少年記念センターにて開催された「第29回全国公民館セミナー」に参加されたお二方の感想を紹介します。

#### ◆笠岡市中央公民館 館長 小寺 隆雄

初日のスペシャル座談会では、『笠岡市産業振興ビジョン』の策定に関わってくださった、山崎亮さんの歯に衣着せぬ小気味よい発言を聞いて、やっぱりすばらしい人だなあと感じました。2日目の「自分たちの公民館ものがたりをつくる」というワークショップで、グループごとに90秒間の映画づくりを行いました。自分たちで映画が作れるのか不安でしたが、7人が協力することによって完成させることができました。出来栄はともかく達成感を味わうことができました。今回の貴重な研修成果を生かして、これからも人と人のつながりを大切に、公民館を起点として新しい地域づくり・まちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

#### ◆西栗倉村教育委員会 主事 白岩 将伍

セミナーでは、時代背景の中でコミュニティが変化し、公民館の在り方も変化してきたことを知り、この先の時代に合わせた公民館の在り方を考える機会となりました。今後やってくるコワーキングスペースを始めとする「シェアリングエコノミー」の時代の中で個人と個人の関係性を作り、喜びをシェアする役割を担う場が公民館であると感じました。しかし、公民館がやりたいことをやるのではなく、何かをやりたい人を支え、選ばれる公民館でありたいと思いました。

資料提供：岡山県公民館連合会

# ★ 吉備公民館 ちちとこくらぶ ★

「ちちとこくらぶ」は、「子ども」と「お父さん」がおもいきり遊べる場★  
 仕事を持つお父さんたちは、普段なかなか子どもたちと交流する機会がないよう  
 ですが、「ちちとこくらぶ」の日はおもいきり遊べます。参加しているお父さんの表  
 情はとても生き生きしているんですよ(^U^)♪毎月、スタッフの各回リーダーが  
 中心となって、掲示板や打ち合わせを重ね、企画・運営しています。  
 子どもたちもその顔を見て喜び楽しくなる、といううれしい循環が起こっています。  
 また、お父さんが地域の人たちとつながる機会が持てるのも魅力のひとつ★  
 ここで仲間になったお父さんたちが、年を取っても地域で協力し合っているとい  
 いなと思います。

カヌーや、手作りのすべり台で川遊び！



川遊び

球技大会



中国学園大学の体育館を借りて球技大会！  
 学生ボラさんも大勢参加しています。

チームごとに工夫をこらしてハンバーグ  
 ソースとポップコーンの味付けで勝負！



クッキング対決！

いろいろなお仕事体験！



スタッフお父さん方の力が集結！  
 ロボット、工事、医療、ゲーム作りのお仕事  
 を体験しました。

他にも、サイクリング、海釣り、キャンプ、オ  
 リンピック、小学校で「逃走中」ほか…オフシ  
 ョン企画や懇親会、地域のお祭りに参加したり  
 など…♪

## ちちとこくらぶ参加者の声

「お父さん」も楽しみながら、子どもとおもいきり遊べる。  
 夫婦で「ちちとこくらぶ」の遊びのアイデアを出し合って会話が弾むようになった。  
 「ちちとこくらぶ」の間は、お母さんも少し息抜きができる。  
 会社以外で、いろいろ相談できる仲間ができた。飲み会もやっている。  
 地域には、子育てを応援したい人がたくさんいることを知った。  
 世代の異なる方も協力してくださり、交流ができる。

実践報告(別紙2)  
(福田)公民館

## <新発見，海から見る絶景水島コンビナート>

古城池高校生がボランティアガイドとして参加しました

ねらい（解決したい地域課題）

- 水島コンビナートの現状を，直接「見て・触れて・感じる」
- 公民館指導員が講座をとおして相互に交流を深める。
- 高校生の地域貢献への参画を促す機会を提供する。



リハーサルも真剣です



講師の古川明さん



全員，夜景にウットリ



この笑顔，いいですね

<成果>

- ① 船上から見る大型の車両運搬船や鉱石運搬船の迫力に受講者は大いに満足してくれました。
- ② 高校生の真摯に取り組む姿勢は，受講者に好評でした。進路選択の参考になったようです。
- ③ 事前準備の段階から公民館間の連絡・協力がスムーズにいき指導員の資質向上につながりました。



最後にみんなでピース



海から見るコンビナートは、陸から見るのとどう違うのか。八月十九日（土）と二十日（日）の二日間、水島公民館と共催で講座を行いました。講師の古川さんとボランティアの高校生たちが講座を盛り上げてくれました。



資料提供：岡山県公民館連合会

実践報告（別紙2）

（水島）公民館

## 講座名（若者から発信！自然環境のために出来ること ～瀬戸内海からこんなゴミが出てきました～）

### ◆ねらい（解決したい地域課題）

水島地区には水島臨海工業地帯があり、環境問題に対する意識が強い地域である。また倉敷市内を流れる高梁川の下流にも位置しており、海面に流れ出る最終地点でもある。そこで今講座では、普段から海底ごみの回収作業や海ごみ削減にむけた啓発活動に取り組んでいる学生達の発表を聞き、自然のために自分達が出来ることについて一緒に考える場として企画した。



学生達が、瀬戸内海の特徴・海底ごみ調査の結果・海ごみ削減に向けた啓発への取り組みについて発表。



山陽女子学園地歴部作成の「海ごみカルタ」を使って、自然を守ることの必要性を楽しく学んだ。



「海ごみカルタ」



話を聞いて感じたこと・今後自分で出来る環境問題への取り組みについて、学生達と一緒にグループワーク。



地歴部が、実際に回収した海底ごみ

### ◆効果（参加者の意見）

参加された一般の方や、他校の高校生達からの意見の一部を御紹介します。  
「海底ごみについての精力的な活動や、高校生の生き生きとした姿が特に良かった」「ごみ問題の一部を改めて勉強できた」「話を聞くだけでなく、グループワーク等の自分で考え、体験する活動ができ良かった」「海の近くで育ちました。最近は海に行くこともなくなり、ごみの事もよくわかりませんが、次の世代にきれいな海を残してあげたいと思った」「同じ高校生なのにしっかりしていて自然環境についてたくさん知れて良かった」「海底ごみについて友達にも伝えようと思います」



## (富山) 公民館 (富山おばけ屋敷プロジェクト) 講座

### ◆ねらい (解決したい地域課題)

富山学区は、ボランティアとして様々な場面で多くの中学生が活躍しているが、企画から参加しているものが少ない現状がある。中学生自身が主体的に関わり、自由な発想で企画し運営することで、中学生が達成感を味わうとともに、小中学生の交流を図ることを目的とする。平成 28 年度から実施しており、企画段階から当日まで参加できる中学生を募集し準備期間を 2 か月設けた。昨年度の反省をいかし、作成過程の中で中学生自らのルールをつくり、成功に向けて努力していくこととした。

### ◆活動の様子

「小学生はこわがってくれるかなあ」…出し物や会場レイアウトも中学生が考えました。会場準備中。



おそろおそろ会場に入っていく小学生。

「こんにちは」小学生の参加は 75 人で満員御礼！受付も、中学生が交替で行いました。



中学生ボランティアは総勢 27 人。終わった後はジュースで乾杯！みんなで活動をふりかえりました。



### ◆効果 (参加者の声等)

小学生…「こわくてさげびすぎて、のどがいたくなりました。水でぬらされたり、人が急に出てきたりしてビックリしました」「ぼくの足をつかんだりしてこわかった。また、きたいです」「おもしろくて来年ボランティアしたいです。去年より人が話しかけてこわいというより面白かった」「中学生たちが、日々時間を自分たちで作って今日のために 2 か月もがんばって作ってすごいと思いました」  
中学生…「いろいろ自分たちで構成してみて、子どもたちにこわがってもらえるととてもうれしかった。次もボランティアしたいと思いました」「準備などいろいろ工夫したりしたので大変でした」「協力して何かを完成させていく大切さを実感した」「小学生とたくさんふれあうことができたと思いました。準備で何をつくれればいいかわからなかったけどチームで協力できました」「どうやればもっと怖がらせるか、どうやればうまくいけるかどうかを考えた」



資料提供：岡山県公民館連合会

実践報告例（別紙2）

# 勝央町公民館 青少年カタルバ事業

◆ねらい（解決したい地域課題）

勝央町公民館を拠点に、中高生等の若者の活躍の場を創出することにより、自己肯定感や勝央町への愛着心を高め、地元定着や持続的な地域活動を推進する。

また、大学入試改革により、今後中高生への「キャリア教育」が重要視されることを踏まえ、自らの意見を発言し実行する主体性を身に付けるきっかけを作る。

◆活動の様子



公共の場に自主学習ができる環境を作るため「公民館ロビー活用プロジェクト」を始動。学生だけでなく高齢者や小さいお子さんをお持ちのお母さんにも気持ちよく利用していただけるよう、様々な意見が飛び交う。



予算のことや、中高生の意見を反映させるためにご相談したところ、株式会社ナンバ女子DIY、CLUB様のご理解とご協力を得て、中高生がレイアウトした机などを手作りすることに！



◆効果（参加者の声）

「自分たちが作ったものが、公民館に形として残っていき、そして作ったものを誰かが使ってくれることを考えると、やって良かったと思う。」「普段、何かを買うことはあっても、作り上げることはないので、貴重な体験ができていると思う。」（中高生）

「中高生対象の初めてのワークショップでどうなるかと思っていましたが、電動工具の扱いや、サイズの計り方などの飲み込みも早く、自分たちで率先して作業をしてくれてスムーズに進んだ。また、機会があれば、一緒に何かできたらと思います。」（ナンバ女子DIY、CLUB）

地元企業の方にご協力をいただき、貴重な体験機会となった。



特集 まちの図書館へ

# 図書館の未来を話し合う、ワークショップを開催しました

図書館が大好きな人  
手を挙げて～



▲図書館利用者、図書館司書、おはなし会のボランティアさん、学校図書館司書、愛育会などが参加したワークショップ。みんなでLibrary(図書館)のLのポーズをとって記念撮影

“図書館がこうなったらいいな！”  
ワークショップで出た意見

- BGMが流れる図書館
- 借りた本のデータを提供してくれる
- 飲食できるスペースがあれば
- パパ向けのイベントが豊富
- ペットルームがあったらいい
- 赤ちゃんを遊ばせられる場所がほしい
- 本をたくさん借りた人にはTシャツをプレゼント!
- 図書館で勉強がお泊り会がしたい
- 夜も開館していたら使いやすい
- ショップセンターに返却ポスト
- 集めてくれる冊子がほしい
- 図書館で勉強を歌ってもらいたい
- 年齢の人には本の宅配サービスをする
- 読めるスペースと読めるスペースを分けてもらえるといい



▲講演会が出席し、意見を述べた



▲小学生グループの発表が熱心に聞いていた



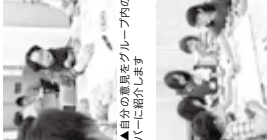
▲イクメン発表がいたら楽しかったですね!



▲進行は香川大学の山本雅英先生。今日は図書館をもっと良くするために、日頃思っていることを自由に話してもらいました。



▲みんな図書館になったらいいなと話すことを順番に記入



▲似た意見は集めて、分類ごとに原簿に付けていきました

## 夢いっぱいの子供な意見が出揃ったワークショップ

会場が和気あいといよいよ本題へ。参加者たちは、「図書館でこんなことができたら、もっと好きになる」「こうなら面白くない」「この観覧で一つひとつ、付箋に意見を書き出していきます。今回、進行役の香川大学山本雅英先生から伝えられた唯一のルールは、「人の意見を否定しないこと」。そのため、図書館に対する固定観念を取っ払った自由な意見が発表されていきました。

「図書館ホールがあったら楽しそう」「自然と触れ合えるスペースがほしい」「小さなお子様も連れづらなところ来やすいような空間づくりが必要」「アニメ化した本を増やしてほしい」…施設のこと、サービスのこと、図書のこと。いろいろな世代と立場から、日頃感じるニーズや夢に溢れた図書館へのリクエストが集まりました。

「今日は、皆さんのエニエな意見が出ました。すぐには実現が難しいこともあるかもしれませんが、でも、何かできる方法が

## 魅力ある図書館にするために

8月6日、豊中町図書館で「図書館ワークショップ」が開催されました。現在市では、今後の図書館の具体的な運営方針を示す「図書館基本計画」を策定するため、検討を進めています。今回のワークショップは、この基本計画を作るにあたって、利用者の皆さんや図書館に関わる人々の意見を広く取り入れるために行われました。参加者は、小学生から大人までの利用者、図書館ボランティア団体、図書館司書、学校図書館司書、愛育会、香川大学の学生など計60人。

ワークショップの前半では、図書館司書が館内を案内して、設備や本の配置、掲示の工夫などを説明。その後、7つのグループに分かれて図書館の好きなところを話し合いながら自己紹介をしていきました。中には、「読みたい本が見つかる」「静かな空間で読書できる」「たくさん本があって、見ているだけで楽しい」といった声があり、それぞれが共感しながら会話を弾ませる場面もありました。



▲館内を案内しながら案内

あるはず。今後は、こうしたこれらを実現できるかについてアイデアを出し合います。いろいろな人に考えてもらいたいですね」と山本先生。こうして、理想の図書館について話し合う、第1回目のワークショップは幕を閉じました。

## 将来の図書館を見据えて 図書館基本計画を策定します

今回のワークショップで出た貴重な意見は、現在策定中の「図書館基本計画」に取り入れていきます。10月には、その案について、意見をいただくためのパブリックコメントを実施する予定です。広報紙やHPでお知らせしますので、ご協力よろしくお願いします。

▶問い合わせ  
生涯学習課 ☎73・3135

可能性に満ちた  
みんなの図書館  
みんなで考えて  
本と人、人と人が  
もつとつながる場所へ

## インタビュー・ダイアログ

# 「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」

### コーディネーター

九州女子大学 教授  
**大島 まな 氏**



### コメンテーター

香川大学地域連携・  
生涯学習センター  
准教授

**山本 珠美 氏**



### 登壇者

福岡市警固公民館 館長 **南 幸盛 氏**

平成2年から福岡市公立中学校教諭として勤務。公民館事務職員を経て、平成18年に警固公民館館長に就任。現在6期目。

#### 【テーマについて】

福岡市では、各小学校校区に147の公民館が設置されています。「集まる」「学ぶ」「つなぐ」を基本的機能とし、生涯学習の拠点であり、地域コミュニティの拠点である公民館は、その役割がますます増加しています。地域活動を活性化し継続的なものとするため、新しい人材を発掘し、地域デビューに繋げるべく、その入口としての公民館デビューの促進を目指しています。



香川県高松市大町コミュニティセンター 主任 **片山 あゆみ 氏**

平成22年4月、むれコミュニティ協議会事務局員として入職。大町コミュニティセンター主任として配属され主に生涯学習に携わる。

#### 【テーマについて】

「みんなの朝活」は職員と参加者が同じ歩幅で企画運営し、関わる人全員が楽しめる事業です。そこには地域課題の解決のヒントが満載。アイデアと行動で住民を刺激し、出会うすべての方の笑顔を力に変えて日々奮闘中です。



香川県高松市立牟礼小学校 教諭 **黒川 幸宣 氏**

平成21年小豆島の洲崎小学校（現土庄小学校）に入職。3年間勤務後、現在の牟礼小学校に転勤。5年生を担当した際、大町コミュニティセンターの片山さんと協働して『朝活』を活用した総合的な学習を実践。

#### 【テーマについて】

人と人をつなぐ公民館。そのために公民館がプロデュースするだけでなく、公民館を舞台に住民が参画出来る取組。大町コミセンで言う『みんなの朝活』のような取組が大切ではないかと思えます。





◆◆◆ × 毛 ◆◆◆

A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, consisting of 20 lines.

## 福岡県公民館大会年表

大会	月日	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年 1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年 4月	八幡市		
第3回	昭和29年 11月19日 ～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年 11月21日 ～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民館活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す	赤字財政下の公民館をいかに振興するか
第5回	昭和31年 10月25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す	公民館の現状はこのままでよいか
第6回	昭和32年 10月19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる	新生活運動の反省と今後の推進方策について
第7回	昭和34年 11月21日 ～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年 10月3日 ～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に則して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいか
第9回	昭和36年 6月3日 ～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいか
第10回	昭和37年 5月13日 ～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいか	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいか
第11回	昭和38年 5月25日 ～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくらう	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか
第12回	昭和39年 5月31日 ～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいか	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年 5月23日 ～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か
第14回	昭和41年 5月24日 ～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう	住民の創造的生活の確立のために(分科会テーマ)
第15回	昭和42年 5月14日 ～15日	豊前市市民会館	今日の生活を見つめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習(記念講演)
第16回	昭和43年 5月28日 ～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題(記念講演)
第17回	昭和44年 5月31日 ～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割(記念講演)
第18回	昭和45年 5月26日 ～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう	公民館の理想と現実
第19回	昭和46年 5月25日 ～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習に応えられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめて	岐路にたつ70年代の選択(記念講演) 公民館の理想と現実



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第20回	昭和47年 7月6日 ～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会（コミュニティ）形成のための公民館活動のあり方を考える		明日を創る公民館の新思路（記念講演）
第21回	昭和48年 5月30日	福岡市立少年文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求にこたえるための公民館の役割（シンポジウム）
第22回	昭和49年 6月6日	八女市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年 6月1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年 6月3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公民館事業のあり方を考える	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業 住民の生活を高めるための公民館事業
第25回	昭和52年 9月22日	北九州市小倉南市民センター	住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年 7月5日	太宰府勤労者体育センター	地域の住民の学習要求に応えるための具体的な公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年 7月3日	大川市文化センター	多様化する地域住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年 6月12日	中間体育文化センター	地域住民の実際生活に即した公民館のあり方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について
第29回	昭和56年 6月3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と役割を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処する社会教育
第30回	昭和57年 6月9日	北九州市小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方を考える	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り方を考える
第31回	昭和58年 8月9日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割と機能を考える」-今、公民館は地域住民とともに何をしなければならないか-	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」 -思いやりのある社会づくりのために-
第32回	昭和59年 6月22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経営の在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年 6月13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館のあり方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年 5月30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年 8月6日	北九州市立小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の役割」
第36回	昭和63年 7月27日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民館のあり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第37回	平成2年 11月21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあり方を考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第38回	平成3年 7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第39回	平成4年 7月30日	久留米市 石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年 9月17日	大牟田市 大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年 7月29日	田川市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館の役割
第42回	平成7年 8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!! - “愛されるため”の魅力をアップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年 8月7日	北九州市立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館 - 粋な生き方と学業国づくり -
第44回	平成10年 8月20日	志免町立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	公民館のこれから - 社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために -
第45回	平成11年 7月30日	中間市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年 7月28日	久留米市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演 分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年 7月27日	筑後市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む公民館活動の新たな戦略	講演 分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年 8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演 分科会(5)	社会教育の定番は、“今”～完全学校週5日制に対応した公民館活動のあり方～
第49回	平成15年 7月23日	荏田町立 中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演 分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年 8月31日	北九州市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演 分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年 8月3日	宗像市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演 シンポジウム	地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年 8月8日	直方市 ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」- 子供の生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動-	講演 シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年 8月1日	朝倉市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演 シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年 8月1日	柳川市 柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演 シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年 8月4日	田川市 田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演 シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年 8月4日	行橋市 行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演 シンポジウム	「『新しい公共』とこれからの公民館」 「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年 8月2日	北九州市 八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて	講演 インタビュー・ダイアローグ	「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」 「元気の出るまちづくり」





大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第58回	平成25年 8月29日 ～30日	福岡国際会議場 福岡サンパレス 福岡市民会館	「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～	分科会(7) 記念講演	※第64回九州地区公民館研究大会（福岡大会を兼ねる）
第59回	平成26年 7月31日	春日市 クローバープラザ	「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の活性化に向けた公民館の役割」
第60回	平成27年 8月4日	岡垣町 岡垣サンリーアイ	「地域に活力を生み出す公民館の役割」	講演 シンポジウム	「活力を生み出す公民館」
第61回	平成28年 8月10日	久留米市 久留米シティプラザ	「ひとを育て、まちを育む公民館力」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか？」
第62回	平成29年 8月10日	筑後市 サザンクス筑後	「公民館が核となった人づくり・まちづくりの可能性を求めて」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「持続可能な地域づくり・人づくりに向けた公民館の可能性は？」



2018年(平成30年)度 (2018年5月1日~2019年5月1日)

# 公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定める「公民館の目的」に寄与する施設等で公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたものは、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

## 3つの補償で公民館活動をサポート

### 1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

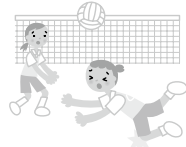
#### 保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

#### 見舞金制度

- 急性疾病に、死亡弔慰金、入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害により公民館建物やその収容動産に損害が発生した場合に、見舞金をお支払いします。

#### 【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

### 2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

#### 保険

- 公民館の施設・設備等\*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

※公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

\*施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含まれます。

#### 【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

### 3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

#### 保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

#### 見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

#### 【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

## 公民館総合補償制度の特長

### (1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

#### ★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

### (2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

### (3) 掛金の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償の保険料と見舞金制度掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償の保険料には、団体割引25%、過去の損害率による割引25%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『2018年(平成30年)度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

■引受保険会社  
**損害保険ジャパン日本興亜株式会社**  
 営業開発部第三課  
 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
 TEL 03-3349-3820 FAX 03-6388-0157

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)  
**エコー総合補償サービス株式会社**  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9  
**TEL : 0120-636-717**(通話料無料)  
**FAX : 0120-226-916**(通話料無料)

## 福岡県公民館連合会ホームページ

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ

<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



YahooやGoogleなどの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。

○「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。

○「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。



県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。

年3回ホームページ上で発行しています。(7月、11月、3月)

○市町村のページ特集  
「特色ある公民館活動」

○こちら県公連

定期更新（年3回）以外に、新着情報の随時更新を行います。  
ぜひ、ご覧ください。



ボタ山  
(遠景)

嘉穂劇場



旧伊藤伝右衛門邸  
(ライトアップ)